

平成26年1月22日



研究だより

第38号

自治医科大学附属さいたま医療センター

基礎研究と臨床研究

副センター長 安達秀雄



基礎研究と臨床研究という分類は、臨床医にとっては便宜的なもので、実際には両者の中間に位置する研究が多い。とくに外科医の場合は、基礎的と臨床的な研究の間を行ったり来たりしている場合が多いように感じる。

私はレジデントの時に画像診断に興味をもち、当初は心臓や肺の虚血診断に熱画像（サーモグラフィー）を応用できないかと考えていた。動物で虚血モデルをつくり、熱画像の解析をすすめた。米国留学中には、実際の組織血流量を計測するために、ラジオアイソトープを使用し、病理組織との対比などを行っていた。留学したジョンス・ホプキンス大学心臓外科研究室とは無関係な仕事であったが、当時の心臓外科ライツ主任教授は寛容な方で、若いフェローの勝手なアイデアと行動を許容してくれた。ラジオアイソトープを使用した研究は、循環器内科の一研究室で行われていたので、私は自分のアイデアを循環器の教授に売り込み、その研究室で実験を行うことができた¹⁾。

サーモグラフィーが虚血、再灌流を敏感に検知することがわかったので、冠動脈バイパス手術に臨床応用できるのではないかと考え、米国西海岸のヒューズ・エアクラフト社から高価なサーモグラフィー装置を東海岸にあるジョンス・ホプキンス大学の手術室に導入し、臨床応用を行った。バイパスグラフトの血流評価が可能になるなど成果は得られたが、可視範囲の評価のみであったので、それ以上の臨床応用は進まなかった。

しかし、最近ではカテーテル（温度センサーつきガイドワイヤー）を用いて繊細な温度変化を検知することで、冠動脈の血流量や狭窄度を評価し、あるいは炎症

の程度を評価するなど、循環器領域では、温度と血流との関係はその後も継続して研究のテーマとなっているようである²⁾。

画像診断に関する研究では、装置（デバイス）の研究も重要な要素であり、その原理、仕組み、演算方法、表示方法、記録形式など、様々な要素によって画像や評価が変わってくる。

カラードップラ法の開発と臨床応用も、そうした基礎的研究とのコラボレーションが重要なポイントであった。今でこそ心エコー（2D、カラードプラ）は誰でもが眼にする当たり前の画像診断になっているが、開発当初はBモードだけの情報しか得られなかった。ようやく1980年前後に2Dエコーが導入されたが、血流はある一点のドップラ信号から推測するしかなかった。1980年代中頃に2Dエコーにドップラ信号を載せることが企画され、世界中で鎬を削る開発競争が行われた。また、プローブに関しても、経食道エコー法が開発され、盛んにその臨床応用の拡大が図られた³⁾。カラードプラによる血流の可視化が行われ、プローブに向かう血流は赤、遠ざかる血流は青と当時決められた。赤、青の色の決定は、人為的なものではあるが、今は広く行き渡って臨床に無くてはならないものになっている。

最近皆さんが普通に利用している冠動脈や血管疾患の3D画像も、やはり基礎研究とのコラボレーションが重要であった。CT画像は1990年頃までは、横断像しか無く、外科医にとっては、術前の治療計画を立案するには苦労が多かった。しかし、1990年代前半に病変の立体構造が可視化可能になり、外科医にとっては、重要で有用な診断手段となった。冠動脈や血管

疾患の3D画像の導入は、多くの臨床医と患者にとって、診断、治療のクオリティを向上させるための大きな力となっている⁴⁾。

臨床の要請に基づいて基礎研究を進めること、基礎研究と臨床がリンクすること、これが臨床医にとっては研究において生き甲斐を感じられる瞬間であり、臨床医が基礎研究にたずさわる際の醍醐味であろう。そうしたテーマを見つけ、若手医師とともに研究をすすめることがスタッフには求められている。

文献

1) H. Adachi, L. C. Becker, et al. : Assessment of

Myocardial Blood Flow by Real-time Infrared Imaging. *Journal of Surgical Research* 43 : 94-102, 1987

2) 小林 裕、他 : Pressure wireを用いた温度測定と冠動脈評価. *冠疾患誌* 12 : 143-147, 2006

3) H. Adachi, R. Omoto, et al. : Emergency Surgical Intervention of Acute Aortic Dissection with the Rapid Diagnosis by Trans-esophageal Echocardiography. *Circulation* 84 : Sup3 14-19, 1991

4) H. Adachi, Jun Nagai : Three-Dimensional CT Angiography. Little, Brown and Company, 1995

研究の成果

総合医学 1

■ 総合診療科

平成25年1月から平成25年12月までの総合診療科の業績など（前回未掲載を含む）です。

原著論文

1. Watanabe T, Sugawara H, Ishii A, Matsubayashi H, Tamura H, Kakei M, Momomura S : A case of co-infection with Group A Streptococci and Epstein-Barr virus presenting with acute post-infectious glomerulonephritis and acute left ventricular dysfunction. *Internal Medicine* 51 (11) : 2639-2643, 2012
2. Hitoshi Kuroda, Hisakazu Yano, Yoichi Hirakata, Kazuaki Arai, Shiro Endo, Hajime Kanamori, Hiromi Yamamoto, Sadahiro Ichimura, Miho Ogawa, Masahiro Shimojima, Mayumi Komatsu, Teruko Jonai, Sachiko Itagaki, Yuriko Nonomiya, Akira Suwabe, Mitsuo Kaku : Molecular characteristics of extended-spectrum β -lactamase-producing *Escherichia coli* in Japan : emergence of CTX-M-15-producing *E. coli* ST131. *Diagnostic Microbiology & Infectious Disease* 74 (2) : 201-203, 2012
3. Fujiwara N, Sugawara H, Yabe H, Ishii A, Matsubayashi H, Watanabe T, Kakei M, Kobayashi Y, Dobashi Y : Value of the measurement of prostate specific antigen in transudative pleural effusion for the diagnosis of

paramalignant effusion due to prostate cancer. *J Med Cases* 4 (7) : 507-510, 2013

4. 中村 潤, 菅原 斉, 石井 彰, 塚原理恵子, 出光俊郎, 眞山英徳, 渡辺珠美, 野首光弘 : 【今月の症例】発熱, 筋痛, 下肢の紅斑・硬結を主症状としたミノサイクリン誘発性結節性多発動脈炎の1例. *日本内科学会雑誌* 2013 ; 102 : 2053-2056

5. Suzuki J, Sugawara H, Ishii A, Maki M, Sanayama H, Matubayashi H, Watanabe T, Fujimoto WF, Kakei M, Yamada S : Featured Article : Hypercalcemia and peripheral T-cell lymphoma-type lymphoproliferative disorder associated with methotrexate in a rheumatoid arthritis patient. *J Med Cases* 2013 ; 4 (9) : 627-632

6. Hamasaki H, Yanai H, Kakei M, Ezaki O, Noda M : Non-exercise activity thermogenesis is associated with markers for diabetic microangiopathy in Japanese female patients with type 2 diabetes. *International journal of cardiology* 2013 ; 168 : 4836-4837

7. Hamasaki H, Yanai H, Mishima S, Mineyama T, Yamamoto-Honda R, Kakei M, Ezaki O, Noda M : Correlations of non-exercise activity thermogenesis to metabolic parameters in Japanese patients with type 2 diabetes. *Diabetology & metabolic syndrome* 2013 ; 5 : 26

8. Iwasaki Y, Shimomura K, Kohno D, Dezaki K, Ayush EA, Nakabayashi H, Kubota N, Kadowaki T, Kakei M, Nakata M, Yada T : Insulin Activates Vagal Afferent Neurons Including

- those Innervating Pancreas via Insulin Cascade and Ca Influx : Its Dysfunction in IRS2-KO Mice with Hyperphagic Obesity. *PloS one* 2013 ; 8 : e67198
9. Manaka K, Nakata M, Shimomura K, Rita RS, Maejima Y, Yoshida M, Dezaki K, Kakei M, Yada T : Chronic exposure to valproic acid promotes insulin release, reduces K channel current and does not affect Ca signaling in mouse islets. *The journal of physiological sciences : JPS* 2013 ;
 10. Tsujimoto T, Yamamoto-Honda R, Kajio H, Kishimoto M, Noto H, Hachiya R, Kimura A, Kakei M, Noda M : Vital Signs, QT Prolongation, and Newly Diagnosed Cardiovascular Disease during Severe Hypoglycemia in Type 1 and Type 2 Diabetic Patients. *Diabetes care* 2013 ;
 11. Nakajima K, Oshida H, Muneyuki T, Saito M, Hori Y, Fuchigami H, Kakei M, Munakata H : Independent association between low serum amylase and non-alcoholic fatty liver disease in asymptomatic adults : a cross-sectional observational study. *BMJ open* 2013 ; 3
 12. Muneyuki T, Sugawara H, Suwa K, Oshida H, Saito M, Hori Y, Seta S, Ishida T, Kakei M, Momomura S, Nakajima K : A community-based cross-sectional and longitudinal study uncovered asymptomatic proteinuria in Japanese adults with low body weight. *Kidney international* 2013 ; 84 : 1254-1261
- 著書**
1. 菅原 斉 : 失神を主訴とする68歳男性. *In* : 総合診療外来の問診ライブ (神田善伸, 本村和之 編集), 文光堂, 東京, 2013, p20-32
 2. 菅原 斉 : 倦怠感(疲労感). *In* : コモンディーズブックー日常外来での鑑別と患者への説明のためにー(宮崎俊一, 梶波康二, 岡崎仁昭 監修), 日本内科学会専門医部会, 東京, 2013, p80-84
- 学会発表**
1. 山下武志, 吉田昌史, 山田穂高, 浅野智子, 菅原 斉, 川上正舒, 加計正文, 石川三衛 : 胃動脈瘤破裂後にSIADHを来した一例. (日本内分泌学会雑誌88 (3) : 1052, 2012)
 2. 宗雪年孝, 菅原 斉, 押田知樹, 斎藤雅文, 堀由美子, 諏訪 要, 瀬田節子, 石田岳史, 加計正文, 百村伸一, 中島 啓 : 成人若年低体重者における無症候性蛋白尿の疫学的研究. 第47回日本成人病(生活習慣病)学会学術集会, 東京, 2013年1月12日(日本成人病(生活習慣病)学会誌39 : 74, 2013) 【最優秀演題賞】
 3. 松沢迪子, 松永 渉, 山下武志, 松林洋志, 渡辺珠美, 黒田 仁, 石井 彰, 菅原 斉, 崎山快夫, 大塚美恵子 : 急性Wernicke脳症を発症したアルコール依存症の1例. 第594回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013年2月9日(日本内科学会関東地方会594回演題要旨 : 86, 2013)
 4. 黒田 仁, 石井 彰, 松林洋志, 渡辺珠美, 菅原 斉 : インスリン, ステロイドおよび抗真菌薬投与中に発症した*Nocardia*大腿部筋肉内膿瘍の1例. 第87回日本感染症学会学術講演会、横浜, 2013年6月6日(感染症学会雑誌 2013 (5) : 87 ; 臨時増刊号268)
 5. 黒田 仁 : 岩手県宮古市田老地区における東日本大震災での被災者としての医療・保健活動. 第4回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会, 仙台, 2013年5月19日(第4回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会プログラム抄録集 p296) 【地域ケアネットワーク賞】
 6. 高山千幸, 野中崇央, 菅原 斉, 森 穂波, 吉田泉, 田部井 薫, 山田茂樹 : 1年間隔の腎生検所見を比較できたMSSA感染性肝嚢胞による感染症関連糸球体腎炎の1例. 第598回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013年7月21日(日本内科学会関東地方会598回演題要旨 : 92, 2013)
 7. 宗雪年孝, 菅原 斉, 石田岳史, 加計正文, 中島啓, 百村伸一 : BMIの相違による再発性・非再発性蛋白尿の検討 8年間の縦断研究. 第12回自治医科大学シンポジウム, 自治医科大学, 2013年9月5日(第12回自治医科大学シンポジウム抄録集, p35)
 8. 渡邊萌理, 山下武志, 松沢迪子, 高山千幸, 松林洋志, 黒田 仁, 石井 彰, 小田 彩, 寺井千尋, 菅原 斉 : トシリズマブ(TCZ)が有効であった血球貪食症候群(HPS)合併の成人ステイル病(AOSD)の一例. 第599回日本内科学会関東地方会, 東京, 2013年9月14日(日本内科学会関東地方会599回演題要旨 : 110, 2013)
 9. 鈴木怜奈, 黒田 仁, 松林洋志, 石井 彰, 菅原 斉 : 急性腎盂腎炎から*Candida albicans*血症を来し、片側性真菌性眼内炎を併発した未治療の2型糖尿病女性の一例. 第62回日本感染症学会東日本地方会学術集会, 東京, 2013年11月1日(第62回日本感染症学会東日本地方会学術集会プログラム抄録集, p139)
 10. 黒田 仁 : <教育講演> 岩手県宮古市田老地区

での東日本大震災と医療・保健活動. 第4回日本
クリニカルパス学会, 盛岡, 2013年11月1日(日
本クリニカルパス学会誌vol.15 No.4, p314, 2013)

11. 黒田 仁, 高山千幸, 吉田昌史, 松沢迪子, 山
下武志, 渡邊萌理, 松林洋志, 石井 彰, 菅原
斉: 両下腿浮腫と好酸球増多を呈した20代女性の
2例. 第602回日本内科学会関東地方会, 東京,
2013年12月14日(日本内科学会関東地方会602回
演題要旨: 67, 2013)

その他

1. 菅原 斉: 高齢化社会と総合診療科の役割. 第2
回学術セミナー【健康長寿のための糖尿病早期介
入の意義】-糖尿病から認知症への連鎖を断ち切
る-, さいたま, 2013年2月18日
2. 菅原 斉: 大学説明 教育内容と特色について.
平成24年度自治医科大学(医学部)説明会, 駿台
大宮校, 2013年11月26日
3. 日本内科学会第41回総合内科専門医資格認定試験
合格者: 渡辺珠美, 松林洋志
4. 日本内科学会第30回内科医資格認定試験合格者:
山下武志
5. 日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア
認定医試験合格(2012年, 2013年): 石井 彰,
黒田 仁, 菅原 斉, 松林洋志, 渡辺珠美
6. 日本プライマリ・ケア連合学会プライマリ・ケア
指導医合格(2012年, 2013年): 黒田 仁, 菅原
斉, 渡辺珠美

■ 循環器科

・2013年10月～、及び前回未掲載分

【総説】

- 1) 百村伸一, 石田弘毅, 山田容子: 最新臨床睡眠学
—睡眠障害の基礎と臨床—Ⅳ睡眠関連呼吸障害群
「循環器領域における睡眠呼吸障害の診断・治療
に関するガイドライン」の要点 日本臨床71巻増
刊号5 340-348.

【原著論文】

- 1) Wada, H., Aiko, J., and Momomura, S.: The
Inferior Vena Cava Filter JAMA Internal
Medicine. 2013 Oct 14 Vol.173, Number 14.

【学会発表】

- 1) 百村伸一: 心不全治療— β 遮断薬の新たな展開—
第229回日本循環器学会関東甲信越地方会教育

セッションⅣ, 東京, 2013年9月14日.

- 2) 伊部達郎, 和田 浩, 坂倉建一, 池田奈保子, 菅
原養厚, 三橋武司, 百村伸一: 収縮不全と拡張不
全における肺高血圧の臨床像の比較 第50回記念
日本臨床生理学会総会, 東京, 2013年11月8日.
- 3) 三橋武司: The Present Status of CRT Therapy
in japan from the Database of JCDTR. 第17回日
本心不全学会学術集会, さいたま, 2013年11月28
日.
- 4) 菅原養厚: Evaluation of the Effectiveness and
Safety of Tolvaptan in Patients with Heart
Failure: -A Multi Center Registry- 第17回日本
心不全学会学術集会, さいたま, 2013年11月28日.
- 5) 池田奈保子: Effect of Adaptive-Servo Ventilation
on Autonomic Nervous Function. Investigation
by Heart Rate Variability Analysis. 第17回日本
心不全学会学術集会, さいたま, 2013年11月28日.
- 6) 中村智弘: The Relationship between TNF-alpha
Levels and Adiponectin Levels in the Patients
with Congestive Heart Failure. 第17回日本心不
全学会学術集会, さいたま, 2013年11月28日.
- 7) 百村伸一: Harmonization between Pharmacotherapy
and Non-pharmacotherapy. 第17回日本心不全学
会学術集会, さいたま, 2013年11月29日.
- 8) Yamada, Y., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda,
N., Sugawara, Y., Mitsuhashi, T., Aiko, J.,
Momomura, S.: Clinical features of patients
treated with AldoAs in chronic heart failure.
The 17th Annual Meeting of Japan Heart Failure
Society, November 29, Saitama, Japan.
- 9) 百村伸一: Cardiac Rehabilitation and Autonomic
Function in Patients with Chronic Heart Failure.
第17回日本心不全学会学術集会, さいたま, 2013
年11月29日.
- 10) Ibe, T., Wada, H., Sakakura, K., Ikeda, N.,
Sugawara, Y., Mitsuhashi, T., Aiko, J., and
Momomura, S.: Pulmonary hypertension in
patients with left heart disease: relationship
with systolic left ventricular function. The 17th
Annual Meeting of Japan Heart Failure Society,
November 29, Saitama, Japan.
- 11) 三橋武司: Advancing Patient Management with
Home Monitoring & ProMRI. 第17回日本心不全
学会学術集会イブニングセミナー, さいたま,
2013年11月29日.
- 12) 菅原養厚: 心不全に対するCRT-心不全治療の期
待の新人 第17回日本心不全学会学術集会, さい
たま, 2013年11月30日.

- 13) 和田 浩：難治性心不全に対する陽圧呼吸療法
第17回日本心不全学会学術集会ランチョンセミナー、さいたま、2013年11月30日。
- 14) 和田 浩：チーム医療における心エコー図結果の解釈と活用のすすめ（コメディカル教育講演）第17回日本心不全学会、2013年11月30日。

【研究会】

- 1) 三橋武司：新しい不整脈治療を考える～病診連携の重要性～ 第2回大宮内科医会学術講演会、さいたま、2013年9月12日。
- 2) 百村伸一：循環器疾患の心拍数管理のグローバル・スタンダード メインテート心房細動効能追加記念講演会、東京、2013年10月5日。
- 3) 百村伸一：心不全に対する薬物療法と非薬物療法 Harmonization第20回関西不全心研究会、大阪、2013年10月19日。
- 4) 和田 浩、坂倉建一、中川十夢、池田奈保子、菅原養厚、板橋睦恵、遠藤啓之、宮村大治郎、笹井祥充、草浦理恵、三橋武司、阿古潤哉、百村伸一：当院における心不全管理の状況報告 第2回心不全管理カンファレンス、東京、2013年10月20日。
- 5) 船山 大：慢性心不全患者（CHF）におけるバソプレッシン（AVP）の分泌動態と尿中アクアポリン-2（UAQP-2）排泄 栃木県透析医会研究会、宇都宮、2013年10月24日。
- 6) 百村伸一：心不全治療器としてのオートセットCS（ASV）の可能性 兵庫県立姫路循環器病センター第4回学術研修会、姫路、2013年10月30日。
- 7) 梅本富士：糖尿病療養指導に生かす心血管疾患の知識～発生から病態まで～ 第17回埼糖協医療スタッフ研修会、さいたま、2013年11月2日。
- 8) 菅原養厚：臨床研究DISCHARGE（仮）第6回心不全と利尿剤研究会、さいたま、2013年11月6日。
- 9) 百村伸一：睡眠呼吸障害の心血管疾患発症・進展への関わり 第8回市川市循環器セミナー、市川、2013年11月7日。
- 10) 船山 大：虚血性心疾患と糖尿病～循環器医の立場から～ 第7回新鎌北湖カンファレンス、川越、2013年11月13日。
- 11) 和田 浩：エボプロステノールを反復感染にて離脱を余儀なくされ経口肺動脈拡張薬に切り替えた特発性肺動脈性肺高血圧症の一例の8年間の経過 Severe PAH Clinical Conference TV conference、東京、2013年11月14日。
- 12) 和田 浩：弁膜症患者の診断のタイミングと手術

適応の判断 第2回さいたま弁膜症研究会、さいたま（自治医科大学附属さいたま医療センター内）、2013年11月16日。

- 13) 山本 慶、和田 浩、坂倉建一、片山卓志、秋本知則、藤原隆行、船山 大、池田奈保子、菅原養厚、三橋武司、阿古潤哉、百村伸一：静脈血栓症に対して留置した永久型下大静脈フィルター四年後にフィルター由来血栓による下大静脈閉塞を再発した一例 第20回肺塞栓症研究会、東京、2013年11月23日
- 14) 和田 浩、坂倉建一、山田容子、石田弘毅、伊部達郎、宇賀田裕介、谷口陽介、中村智弘、池田奈保子、片山卓志、梅本富士、菅原養厚、三橋武司、阿古潤哉、百村伸一：左室収縮不全を伴う高度大動脈弁狭窄症にて治療に難渋した症例 超音波血流研究会、東京、2013年12月21日。

【その他】

- 1) 百村伸一：軽症心不全にCRTを適応拡大すべきか？ 第15回循環器ディベイト・カンファレンス、東京、2013年11月2日。

■ 消化器科

- ① 学会、講演会、研究会への出席、発表の日程、概要（2013年9月～11月）
 - 1) 小林瑠美子、松本吏弘、石井剛弘、大竹はるか、吉川修平、上原健志、新藤雄司、山中健一、池田正俊、東海浩一、牛丸信也、浅野岳晴、福西昌徳、岩城孝明、鷺原規喜、浅部伸一、宮谷博幸、吉田行雄。Campylobacter腸炎の経過中に急性膵炎を発症した1例。第326回日本消化器病学会関東支部例会 抄録集27p 2013.9.14 東京
 - 2) 長谷川宏子、吉川修平、浅野岳晴、大竹はるか、上原健志、新藤雄司、山中健一、池田正俊、東海浩一、牛丸信也、松本吏弘、福西昌徳、岩城孝明、鷺原規喜、浅部伸一、宮谷博幸、吉田行雄。甲状腺機能低下により認知症症状を呈した自己免疫性肝炎の一例。第326回日本消化器病学会関東支部例会 抄録集27p 2013.9.14 東京
 - 3) 山中健一、宮谷博幸、松浦克彦、藤本由貴、福西昌徳、濱本耕平、大河内知久、浅野岳晴、浅部伸一、吉田行雄、野田弘志、力山敏樹。経皮経門脈ステント留置により膵頭十二指腸切除後の門脈狭窄に伴う食道静脈瘤が改善した1例。日門充会誌2013；19：122。第20回日本門脈圧亢進症学会総会。2013.9.20 名古屋
 - 4) 松本博成、石田茂夫、宮谷博幸、吉田行雄。大腸

内視鏡検査時「迅速なスコープ挿入長把握のため」のカラーテープを用いた「シャフト部分色分け」の試み. Gastroenterol Endosc 2013; 55: 2878. 第86回日本消化器内視鏡学会総会 2013.10.11 東京

- 5) 大竹はるか. 回腸のinflammatory fibroid polypの一例. 日本消化器内視鏡学会埼玉部会第39回学術講演会プログラム. 2013.11.9 さいたま市
- 6) 宮谷博幸. 興味深い内視鏡病変についての検討. 第9回彩の国消化器懇話会. 2013.11.28 さいたま市

② 原著その他論文 (2013年9月~11月)

- 1) Yamanaka K, Miyatani H, Yoshida Y, Asabe S, Yoshida T, Nakano M, Obara S and Endo H. Hemorrhagic gastric and duodenal ulcers after the Great East Japan Earthquake Disaster. World J Gastroenterol 19 (42) : 7426-7432.

■ 放射線科

学会・研究発表 (2013年6月~2013年11月分) :

国内学会

- 1) 千葉英美子: Sorafenib内服中に生じた肝細胞癌腫瘍内出血に対し、TAEにて止血・救命し得た1例、第8回日本IVR学会関東地方会、口演、2012年7月、東京
- 2) 濱本耕平: VAIVT時のバルーン通過困難例に対するpull through法の有用性、第4回埼玉アクセス研究会(優秀演題賞)、口演、2013年7月、埼玉
- 3) 丹野啓介: 診断に難渋した卵巣性索間質性腫瘍の1例、第14回JSAWI、ポスター、2013年9月、兵庫
- 4) 松浦克彦: Wilson病に伴う十二指腸動脈瘤の破裂に対しDOBE(Double ballon Occluded Embolization)が止血に有効であった一例、第20回日本門脈圧亢進症学会総会、ポスター、2013年9月、愛知
- 5) 大河内知久: 興味深い経過を示した線維筋性異形成による腎性高血圧症の1例、第9回腎血管カテーテル治療研究会、口演、2013年10月、埼玉
- 6) 濱本耕平: Area-detector CTを用いた高時間分解能造影CTが局在診断に有用であった膵内分泌腫瘍の1例、第49回日本医学放射線学会秋季臨床大会、ポスター、2013年10月、愛知
- 7) 大森義男: 巨大海綿静脈洞部海綿状血管腫への局

所分割照射著効例、第26回日本放射線腫瘍学会学術大会、ポスター、2013年10月、青森

- 8) 伊藤泰斗: 脳血流シンチグラフィでのみ所見を呈したNPSLEの一例、第53回核医学会総会、ポスター、2013年11月、福岡
- 9) 濱本耕平: ダブルカテーテルテクニックにより良好な塞栓をし得た先天性門脈大循環シャントの一例、第457回東京アンギオ会、口演、2013年11月、東京

講演

- 1) 丹野啓介: 顎関節MRIの世界、第6回東芝pianissimo教室、講演、2013年9月、埼玉
- 2) 田中 修: 脊椎の画像診断: 骨髄疾患、第50回日本医学放射線学会秋季臨床大会、講演、2013年10月、愛知

■ 病理部

①学会発表

- 1) 大井章史、井口雅史、土橋 洋、田尻亮輔. Comparative study of Multiplex ligation-dependent probe amplification and FISH to determine gene amplification in breast cancers. 第71回日本癌学会総会 2012年9月21日 札幌 (日本癌学会誌、71 (1) : 474, 2012)
- 2) 土橋 洋、蛭田昌宏、椛村春彦、山田茂樹、大井章史. 骨軟部腫瘍におけるAKT遺伝子の異常と蛋白活性化. 第102回日本病理学会総会 2013年6月6日 札幌 (日本病理学会誌、102 (1) : 294, 2013)
- 3) 大井章史、土橋 洋、野島孝之、池田博子、北村星子、尾山 武. Utility of FISH to Detect MDM2 Amplification in Liposarcomas and their Morphologic Mimics. 第102回日本病理学会総会 2013年6月6日 札幌 (日本病理学会誌、102 (1) : 295, 2013)

②原著論文

- 1) Tsubochi, H., Endo, S., Oda, Y. and Dobashi, Y. Carcinoid tumor of the lung with massive ossification: report of a case showing the evidence of osteomimicry and review of the literature. Int J Clin Exp Pathol. 6 (5) : 957-961, 2013.
- 2) Kimura, H., Dobashi, Y., Nojima, T., Nakamura, H., Yamamoto, N., Tsuchiya, H., Ikeda, H., Sawada-Kitamura, S., Oyama, T. and Ooi, A. Utility of

- Fluorescence *in situ* Hybridization to Detect *MDM2* Amplification in Liposarcomas and their Morphological Mimics. *Int J Clin Exp Pathol* . 6 (7) : 1306-16, 2013.
- 3) Dobashi, Y., Sato, E., Oda, Y., Inazawa, J. and Ooi, A. Significance of Akt activation and *AKT* gene increases in bone and soft tissue tumors. *Hum. Pathol.* In press.
- 4) Tajiri, R., Ooi, A., Fujimura, T., Dobashi, Y., Oyama, T., Nakamura, R. and Ikeda, H. Intratumoral heterogeneous amplification of *ERBB2* and subclonal genetic diversity in gastric cancers revealed by multiple ligation-dependent probe amplification and fluorescence *in situ* hybridization. *Hum. Pathol.* In press.
- 5) Dobashi, Y., Goto, A., Endo, T., and Ooi, A. Genetic aberrations as the targets of oncology research : Involvement of paraffin-embedded tissues. *Histol. Histopathol.* In press.
- 5) 尾本きよか：「プライマリケアのための超音波検査 - 頸部から下肢まで」, 琵琶湖プライマリケア・リフレッシャーコース (第7回), 平成25年12月8日, 滋賀県

■ 臨床検査部

学会発表

- 1) 飛田野清美, 二階堂貴章, 芳賀美子, 中村啓子, 大木麻衣, 細田健太, 猪山和美, 河野哲也：組織・電顕所見が有用であったFabry病の一例, 第2回日臨技首都圏支部医学検査学会, 2013年10月27日, 東京

その他

- 1) 園山政行：「染色体検査、どう理解するの?」, 福島県血液検査分野・染色体検査分野合同研修会, 2013年10月27日, 福島市
- 2) 園山政行：「核型表記と結果の解釈」, 日本臨床衛生検査技師会 第1回遺伝子染色体検査研修会, 2013年11月23日, 東京
- 3) 園山政行：「認定臨染色体遺伝子検査師認定試験の傾向と対策」, 日本臨床衛生検査技師会 第1回遺伝子染色体検査研修会, 2013年11月24日, 東京
- 4) 大野喜作, 浅野貴之, 齋藤亜紀, 岡田真也, 塩津英俊, 河野哲也, 金守 彰, 大久保昭治, 丸山正統, 佐藤英章：内膜細胞診のPitfalls克服を目指して 悪性との意義が確定できない異型内膜上皮細胞に関する検討を中心に 擬陽性の判定基準特に「意義不明なatypical endometrial cells」の判定について, 第52回日本臨床細胞学会秋期大会シンポジウム, 2013年11月2日, 大阪

総合医学2

■ 一般・消化器外科

原著

- 1) 遠山信幸、亀森康子、桑原菜穂子：インシデント・アクシデント報告の推進とその活用. 看護展望 38：22-29：2013
- 2) 遠山信幸、亀森康子：インシデントレポート：集めたその後にみえる課題. 患者安全推進ジャーナル 33：23-26：2013
- 3) 遠山信幸：医療の質向上のための外科系術後合併症カンファランス (M&Mカンファランス). 34：2013 (In press)
- 4) 遠山信幸：外科医は医療安全にどう立ち向かえばよいか？ 日本外科系連合学会雑誌 38：1129-1130 2013
- 5) Chiba F, Kiyozaki K, Saito M, Takata O, Yamada S, Konishi F, Rikiyama T：A rare case of advanced esophageal adenocarcinoma with exceedingly long-segment Barrett's esophagus. Esophagus (DOI 10.1007/s10388-013-0386-4)
- 6) Chiba F, Soda K, Yamada S, Tokutake Y, Chohnan S, Konishi F, Rikiyama T：The importance of tissue environment surrounding the tumor on the development of cancer cachexia. Int. J. Oncology (In press)

学会発表

- 1) 蓬原一茂：HER2過剰発現（陽性）乳がんに対する術前治療でpCR後に脳転移をきたした1例. 第28回乳癌懇話会 2013.2.16 大宮
- 2) Futsuhara K, Inoue K, Nagai S, Kojima M, Saito T, Hata S, Sakurai T, Yamada H, Kimiduka K, Yamazaki Y, Kurosumi M, Tabei T (Saitama Breast Cancer Clinical Study Group (SBCCSG))：Feasibility study of TS-1 for triple negative breast cancer received standard chemotherapy. 13th St. Gallen International Breast Cancer Conference 2013 2013.3.13-16 Switzerland St. Gallen
- 3) 蓬原一茂、鈴木康次郎、力山敏樹：ホルモン療法と5FU系薬剤が繰り返し有効であったホルモン感受性転移性乳癌の1例. 第44回埼玉群馬乳腺疾患研究会 2013.5.18 大宮
- 4) 蓬原一茂、鈴木康次郎、力山敏樹、関根理、尾本きよか：HER2過剰発現進行乳癌に対してDoxorubicin & PTX followed by PTX &

trastuzumabによる術前化学療法の検討. 第21回日本乳癌学会学術総会 2013.6.27-29 浜松

- 5) 深見友香、蓬原一茂、関根 理：乳癌術後患者の肩関節可動域に影響を及ぼす要因の検討. 第21回日本乳癌学会学術総会 2013.6.27-29 浜松
- 6) 佐々木智子、百瀬ひろこ、蓬原一茂：皮膚・排泄認定看護師としての局所進行乳癌の皮膚浸潤を伴う患者へのチーム医療における役割. 第21回日本乳癌学会学術総会 2013.6.27-29 浜松
- 7) 千葉文博、早田邦康、山田茂樹、徳竹由華、長南茂、小西文雄、川上正舒、力山敏樹：癌悪液質の誘発における宿主側因子の検討. 第22回日本癌病態治療研究会 2013.6.27-28 東京
- 8) 田巻佐和子、蓬原一茂、力山敏樹：呼吸機能低下を伴う皮膚筋炎合併乳癌の1例. 埼玉県医師会外科医会 2013.7.27
- 9) 千葉文博、早田邦康、山田茂樹、力山敏樹：癌悪液質誘発における宿主側因子の関与と臓器特異性～単一クローン腫瘍を用いた検討～. 第12回自治医科大学シンポジウム 2013.9.5 栃木 示説
- 10) 千葉文博、早田邦康、山田茂樹、徳竹由華、長南茂、小西文雄、川上正舒、力山敏樹：腫瘍の存在する環境が悪液質誘発とその脂質代謝に影響する～宿主側因子の検討～. 第9回免疫アジュバント研究会 2013.9.6 埼玉
- 11) 遠山信幸：基調講演 インシデント報告推進のシステム作り. 第10回医療安全管理者ネットワーク会議 in さいたま 2013.9.13
- 12) 鈴木 源、高田 理、清崎浩一、齊藤正昭、小櫃保、野首光弘、吉田行雄、力山敏樹：粘膜下腫瘍様の形態を示した胃癌（リンパ球浸潤胃癌）の1例. 日本消化器病学会関東支部第326回例会 2013.9.14 東京
- 13) 北島明日香、福井太郎、佐々木純一、長谷川美美、堀江久永、力山敏樹：小腸出血に対する当院における治療戦略. 日本消化器病学会関東支部第326回例会 2013.9.14 東京
- 14) Futsuhara K, Suzuki K, Rikiyama T：THE EXAMINATION OF POSTOPERATIVE PAIN MANAGEMENT BY INTRAOPERATIVE SUBCUTANEUS LOCAL INFILTRATION ANESTHESIA FOR BREAST SURGERY. the Global Breast Cancer Conference 2013 poster discussion 2013.10.9-12 Korea Seoul
- 15) Suzuki K, Kato T, Kamiyama H, Muto Y, Saito M, Konishi F, Rikiyama T：Chromosomal instability induced by demethylation alterations. The 10th Nikko International Symposium 2013.10.17 栃木

- 16) Muto Y, Suzuki K, Kato T, Konishi F, Rikiyama T : The efficacy of the chemotherapy, according to the metastatic organs. 第72回日本癌学会学術総会 2013.10.3-5 横浜 (示説)
- 17) Kato T, Suzuki K, Kamiyama H, Muto Y, Saito M, Konishi F, Rikiyama T : Demethylation in centromeric region promotes chromosomal instability via induction of satellite transcripts : 第72回日本癌学会学術総会 2013.10.3-5 横浜 (示説)
- 18) 遠山信幸、亀森康子、桑原菜穂子：初期研修医に対するFace to faceの医療安全教育とその成果. 第8回医療の質・安全学会学術集会 2013.11.23 東京
- 19) 岩本典生、草浦理恵、梅田千典、小藤誠也、安藤勝信、百瀬直樹、亀森康子、遠山信幸：ECMO装着下患者に対する人工呼吸器回路組み間違い事例とその対策 第8回医療の質・安全学会学術集会 2013.11.23 東京
- 20) 水上由美子、遠山信幸、亀森康子：手指衛生行動の改善に向けた取り組み. 第8回医療の質・安全学会学術集会 2013.11.23 東京
- 21) 亀森康子、遠山信幸、桑原菜穂子：病棟薬剤師との連携を考える. 第8回医療の質・安全学会学術集会 2013.11.23 東京
- 22) 桑原菜穂子、遠山信幸、亀森康子：PDAによる患者バーコード認証システムの適正使用の試み. 第8回医療の質・安全学会学術集会 2013.11.23 東京
- 23) 辻仲眞康、遠山信幸、力山敏樹：ビデオシンポジウム 当院における腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア手術標準化するまでの工夫点と手術成績の検討. 第11回日本ヘルニア学会学術総会 2013.5.1 仙台
- 24) 鈴木 源、田巻佐和子、蓬原一茂、力山敏樹：局所進行乳癌に対して化学放射線療法でQOLの改善腫瘍縮小が得られた1例. 第830回外科集談会 2013.9.2 東京
- 25) 進士弥央、井本博文、阿部 郁、辻仲眞康、関謙太郎、福井太郎、長谷川美美、佐々木純一、堀江久永、力山敏樹：Wegener肉芽腫瘍に合併し特異な形態をとった回腸炎症性ポリープの1例. 第830回外科集談会 2013.9.21 東京
- 26) 石岡大輔、齊藤正昭、高田 理、清崎浩一、遠山信幸、力山敏樹：鼠径ヘルニア術後に遅発性メッシュ感染を発症した1例. 第830回外科集談会 2013.9.21 東京
- 27) 高山裕司、石岡大輔、齊藤正昭、清崎浩一、力山敏樹、土橋 洋、山田茂樹：小腸穿孔で発症した
- バーキットリンパ腫の1例. 第18回日本外科病理学会 2013.9.27-28 東京
- 28) 清崎浩一、齊藤正昭、力山敏樹：当院における胃癌チーム医療の現状と課題. 第51回 日本癌治療学会総会 2013.10.24 京都
- 29) 桑原明菜、渡部文昭、野田弘志、力山敏樹：腎細胞癌原発の転移性腓腫瘍の1切除例. 第31回埼玉県外科集談会 2013.11.16 さいたま
- 30) 堀江久永、佐々木純一、辻仲眞康、長谷川美美、福井太郎、阿部 郁、井本博文、力山敏樹：開腹を経ない腹腔鏡下結腸切除の教育へ向けて（開腹手術経験の少ないシニアレジデントでも執刀可能なシステム）. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 31) 福井太郎、辻仲眞康、佐々木純一、長谷川美美、堀江久永、力山敏樹：結腸癌予定手術における術後イレウス発症のリスク解析. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 32) 辻仲眞康、佐々木純一、堀江久永、長谷川美美、福井太郎、井本博文、阿部 郁、力山敏樹：直腸がんに対する低位前方切除術後の縫合不全のリスク因子、治療および予防に関する検討. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 33) 長谷川美美、堀江久永、力山敏樹：女性消化器外科医として働き続けるための問題点と今後の展望－妊娠・出産を経て思うこと－. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 34) 清崎浩一、小櫃 保、高山裕司、石岡大輔、齊藤正昭、千葉文博、高田 理、力山敏樹：当センターにおける胃癌チーム医療第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 35) 井本博文、辻仲眞康、阿部 郁、遠山信幸、力山敏樹：当院における腹腔鏡下腹壁癒痕ヘルニア修復術の手術手技の工夫と治療成績の検討. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 36) 渡部文昭、野田弘志、松浦克彦、力山敏樹：食道癌術後の乳頭部癌に対して膈頭十二指腸切除後、仮性動脈瘤破裂に対してステント留置を施行したが止血に難渋した1例. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 37) 高田 理、清崎浩一、齊藤正昭、石岡大輔、小櫃 保、福田臨太郎、力山敏樹：当科におけるHer2陽性胃癌に対する化学療法の実状. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 38) 阿部 郁、辻仲眞康、井本博文、福井太郎、長谷川美美、佐々木純一、堀江久永、遠山信幸、力山敏樹：腹壁癒痕ヘルニアに対する修復術後、再発、メッシュ感染およびメッシュ除去の後に

- Components separation法により再修復した1例.
第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 39) 石岡大輔、齊藤正昭、高田 理、清崎浩一、力山敏樹：腹腔動脈周囲内臓脂肪綿製測定によるLADGの難易度評価. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 40) 野田弘志、渡部文昭、市田晃佑、力山敏樹：開腹副腎摘除術の経験のない術者への腹腔鏡下副腎摘除術の教育. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 41) 田巻佐和子、蓬原一茂、力山敏樹：副甲状腺癌術後、低CA血症を契機にてんかんを発症した1例. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 42) 高山裕司、石岡大輔、齊藤正昭、高田 理、清崎浩一、力山敏樹：小腸穿孔で発症したバーキットリンパ腫の1例. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 43) 平野雅大、齊藤正昭、小櫃 保、石岡大輔、高田理、清崎浩一、力山敏樹：胃GIST術後リンパ節再発に対し系統的小彎リンパ節郭清術を施行し根治切除が得られた1例. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 44) 和泉香代子、野田弘志、渡部文昭、市田晃佑、黒田 仁、高山千幸、菅原 斉、力山敏樹：腓外分泌機能不全による低栄養状態にパングレリパーゼが著効し、切除し得た水癌の1例. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 45) 遠山信幸：医師からのインシデント報告とその活用. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 46) 小糸雄大：術前に診断し得た横行結腸Winslow孔ヘルニアの1例. 第75回日本臨床外科学会総会 2013.11.21-23 名古屋
- 47) 辻仲眞康、井本博文、阿部 郁、遠山信幸、力山敏樹：腹腔鏡下腹壁瘻痕ヘルニア修復術のエビデンス. 第26回日本内視鏡外科学会総会 2013.11.28-30 福岡
- 48) 阿部 郁、堀江久永、福井太郎、長谷川美美、井本博文、佐々木純一、辻仲眞康、力山敏樹：初めての腹腔鏡下S状結腸切除. 第26回日本内視鏡外科学会総会 2013.11.28-30 福岡
- 49) 福井太郎、堀江久永、阿部 郁、長谷川美美、井本博文、佐々木純一、辻仲眞康、力山敏樹：若手外科医に対する腹腔鏡下大腸手術トレーニング(トレーニングを受けている立場から). 第26回日本内視鏡外科学会総会 2013.11.28-30 福岡
- 50) 阿部 郁、辻仲眞康、井本博文、福井太郎、長谷川美美、佐々木純一、堀江久永、力山敏樹：馬尾神経損傷に起因する膀胱直腸障害に対する腹腔鏡下单孔式S状結腸ストーマ増設術を施行した1例. 第26回日本内視鏡外科学会総会 2013.11.28-30 福岡
- 51) 井本博文、辻仲眞康、阿部 郁、遠山信幸、力山敏樹：腹腔鏡下腹壁瘻痕ヘルニア・右単径ヘルニア根治術同時施行の1例. 第26回日本内視鏡外科学会総会 2013.11.28-30 福岡
- 52) Soda K: Possible Role of Polyamine on Tumor Spread after Surgical Trauma. International Conference on Surgical Oncology 2013. 2013. 12. 24. Bangkok. Thailand.

著書・総説

- 1) 高田 理、清崎浩一、吉田行雄、力山敏樹：特集② 知っておきたい消化器疾患の知識-専門医の診方・治し方 食道癌の内視鏡治療の適応と実際. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科86 (10) 802-808 医学書院 2013.9.20

その他

- 1) 力山敏樹：肝がん(肝細胞癌)の治療方針と治療成績. 第2回市民講座 2013.9.28 院内 講演
- 2) 力山敏樹：肝門部胆管癌のCT診断と外科治療. ゆきぐに大和病院施設講演会 2013.10.4 新潟 講演
- 3) 力山敏樹：肝門部胆管癌のCT診断と外科治療. 第73回手術手技懇話会 2013.11.16 大阪 講演
- 4) 力山敏樹：肝門部胆管癌のCT診断と外科治療. 第15回消化器病学会東北支部教育講演 2013.11.17 仙台 講演
- 5) 遠山信幸：医療安全文化の指標としてのインシデント報告：患者誤認予防策を中心に. 武蔵野赤十字病院医療安全講演会 2013.5.29 東京 講演
- 6) 遠山信幸：インシデント報告の推進と活用. 埼玉県立がんセンター医療安全講演会 2013.6.27 埼玉 講演
- 7) 早田邦康：納豆のポリアミンによるアンチエイジング. 全国納豆協同組合連合会セミナー サテライトシンポジウム in 札幌 2013.11.15. 札幌 講演
- 8) 蓬原一茂：抗HER2療法の治療戦略と副作用対策. 2013.11.16 長岡タイケルブセミナー 新潟 講演
- 9) 蓬原一茂：抗HER2療法の治療戦略と副作用対策 2013.11.30 乳癌学会近畿地方会ランチョンセミ

ナー 大阪 講演

- 10) 力山敏樹：第4回さいたま鏡視下トレーニング（ハンズオン）セミナー 2013.9.21 院内 主催
- 11) 力山敏樹：さいたま内視鏡外科手術セミナー—腹腔鏡下手術手技向上のために— 2013.10.19 栃木 主催

■ 心臓血管外科

☆原著論文

- 1) 安達晃一, 山口敦司, 由利康一, 松本春信, 安達秀雄. 弓部大動脈瘤手術の脳保護法. 胸部外科 Vol.66 No.11 p952-957 2013
- 2) Yuri, K. Yokoi, Y. Yamaguchi, A. Hori, D. Adachi, K. and Adachi, H. Usefulness of fenestrated stent grafts for thoracic aortic aneurysms. European Journal of Cardio-Thoracic Surgery. 44 p760-767 2013

☆学会発表

- 1) 松本春信, 北岡 斎, 鈴木 潤, 出口順夫, 佐藤 紀, 伊藤 智, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. アクセス作成困難症例におけるaggressive autogeneous arteriovenous fistula policy. 第17回日本アクセス研究会 川越 2013.9.21-22
- 2) 竹内絃子, 木村直行, 森田英幹. 腹部大動脈ステントグラフト留置後腹部大動脈（ステントグラフト）閉塞をきたした1例. 第830回外科集談会抄録集 p22. 第830回外科集談会 2013.9.21 東京大学 山上会館
- 3) 野村陽平, 由利康一, 安達秀雄, 山口敦司. EVAR術後に脚閉塞をきたした一例. 第830回外科集談会抄録集 p23. 第830回外科集談会 2013.9.21 東京大学 山上会館
- 4) Arakawa M, Nishimura T, Takewa Y, Umeki A, Ando M, Kishimoto Y, Kishimoto A, Yamazaki K, Kyo S, Adachi H, Tastumi E. Longtime pulsatile control using a rotary blood pump with a newly developed electrocardiogram synchronized rotational speed control system. 21st ISRBP2013 abstract book p81. 21st ISRBP2013 September 26-28 2013 Pacifico Yokohama, Japan
- 5) 松本春信, 伊藤 智, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 関節リウマチに伴う足趾関節変形に対する手術中に急性下肢動脈閉塞を発症し, 緊急distal bypassを施行した1例. 脈管学2013 Vol.53 Supplement s166. 第54回日本脈管学会総

会 2013.10-12 ステーションコンファレンス東京

- 6) 由利康一, 横井良彦, 堀 大治郎, 安達晃一, 松本春信, 山口敦司, 安達秀雄. 右大動脈弓, 左鎖骨下動脈起始異常 (kommerell憩室瘤) に対し, 開窓型ステントグラフト内挿術を行った1例. 脈管学2013 Vol.53 Supplement s181. 第54回日本脈管学会総会 2013.10-12 ステーションコンファレンス東京
- 7) 伊藤 智, 木村直行, 田中正史, 野口健一郎, 片山郁夫, 由利康一, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 狭小大動脈弁輪を呈する大動脈弁狭窄症症例に対するTrifecta弁の有用性—急性期治療成績の検討. 第66回日本胸部外科学会定期学術集会 2013.10.16-18 仙台国際センター
- 8) 由利康一, 堀 大治郎, 長野博司, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. Zone0 (ゼロ) 留置をした弓部大動脈瘤に対する開窓型ステントグラフト (Najuta) の初期・中期成績. 第66回日本胸部外科学会定期学術集会 2013.10.16-18 仙台国際センター
- 9) 山口敦司, 安達晃一, 由利康一, 伊藤 智, 堀 大治郎, 田島 泰, 野中崇央, 荒川 衛, 野村陽平, 竹内太郎, 小林祐介, 玉井宏一, 横山野武, 安達秀雄. 虚血性心筋症に対する外科治療. 第66回日本胸部外科学会定期学術集会 2013.10.16-18 仙台国際センター
- 10) 森田英幹, 木村直行, 白杉岳洋, 竹内絃子. 経皮的カテーテルアブレーションに合併した食道損傷の1救命例. 第66回日本胸部外科学会定期学術集会 2013.10.16-18 仙台国際センター
- 11) 橋本和憲, 松本春信, 横山野武, 小林祐介, 玉井宏一, 竹内太郎, 野村陽平, 田島 泰, 野中崇央, 武部 学, 伊藤 智, 由利康一, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 術式選択に苦慮した, 患肢に透析用カテーテルが留置されている重症虚血肢の1例. 第21回日本血管外科学会関東甲信越地方会抄録集 p23 第21回日本血管外科学会関東甲信越地方会 2013.11.9 東京国際フォーラム
- 12) 玉井宏一, 由利康一, 横山野武, 小林祐介, 竹内太郎, 橋本和憲, 野村陽平, 田島 泰, 武部 学, 木村直行, 伊藤 智, 松本春信, 安達晃一, 山口敦司, 安達秀雄. 上行大動脈置換後バルサルバ洞仮性瘤破裂の一例. 第21回日本血管外科学会関東甲信越地方会抄録集 p23 第21回日本血管外科学会関東甲信越地方会 2013.11.9 東京国際フォーラム

☆その他

- 1) 安達秀雄：教育セミナー 血管外科医が知っておきたい体外循環の知識. 末梢動脈疾患：重症虚血肢の治療（合併症対策も含めて）日本血管外科学会第18回教育セミナーテキスト. 2013.10.12 東京 ステーションコンファレンス東京
- 2) 山口敦司：講演 「What's MICS? Why MICS?」第2回さいたま弁膜症研究会 2013.11.16 自治医科大学附属さいたま医療センター 講堂
- 3) 山口敦司：講演 「経カテーテル大動脈弁置換術（TAVR）：新規登録施設の立場から」. 第4回北里心血管画像研究会 2013.11.15 ユニコムプラザさがみはら
- 4) 由利康一：講演 「最新のAS治療 ～経カテーテル大動脈弁置換～」 第2回さいたま弁膜症研究会 2013.11.16 自治医科大学附属さいたま医療センター 講堂
- 5) 松本春信：講演 「重症虚血肢に対する外科的血行再建術」さいたまPADセミナー 2013.11.26 パレスホテル大宮

☆著書 総説

- 1) 安達秀雄：論説 腹部内臓血管疾患に重要な解剖. III. 血管外科医が知っているべき腹部内臓血管疾患：標準血管外科学IV（日本血管外科学会教育セミナーテキスト）監修：宮田哲郎 編集：福田幾夫 東 信良. Medical Tribune p67-71 2013
- 2) 安達秀雄：論説 診断するためにCTで何をみて、どう対応するか. 大動脈外科の要点と盲点 第2版. 監修・編集 高本眞一 文光堂 p28-32 2013
- 3) 安達晃一：論説 Leriche症候群の超音波画像診断. 第3章症例編. 超音波検査テクニックマスター 腹部・下肢編 監修 松尾 汎 編集 田中良一・小田代敬太 メディカ出版 Vascular Lab 2013 Vol.10増刊 p196-200

■ 脳神経外科

(1) 論文

1. Ebihara A, Tanaka Y, Konno T, Kawasaki S, Fujiwara M, Watanabe E : Detection of cerebral ischemia using the power spectrum of the pulse wave measured by near-infrared spectroscopy. J Biomed Opt 18 (10) : 2013
2. 高嶋浩一, 石川眞実：術中モニタリングを担当することになったら. 手術室に入るための基礎知識と心構え Med Tech. 526 : 1046-1057, 2013.

(2) 学会発表

1. 伊古田雅史、草鹿 元、大澤 祥、藤原洋平、山黒友丘、加持春菜、海老原 彰、石川眞実、田中裕一：STA-MCA吻合手術での当院における工夫と手術成績 当院での吻合方法や若手医師のトレーニング方法、高次脳機能についての術前術後評価結果について. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
2. 石川眞実、高嶋浩一、伊古田雅史、山黒友丘、加持春菜、海老原 彰、草鹿 元、田中裕一：当院における術中電気生理学的モニター. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
3. 海老原 彰、伊古田雅史、山黒友丘、草鹿 元、石川眞実、田中裕一、紺野武彦、渡辺英寿：光トポグラフィーによる脈波パワーを用いた脳虚血評価. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
4. 大澤 祥、田中裕一、草鹿 元、石川眞実、海老原 彰、加持春菜、伊古田雅史、山黒友丘、藤原洋平：稀な腫瘍である脊髄angioliipomaの治療経験と文献的考察. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
5. 草鹿 元、庄田 基、山黒友丘、伊古田雅史、加持春菜、海老原 彰、石川眞実、田中裕一：腰椎変性側湾症に対する当院での手術成績の検討. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
6. 田中裕一、伊古田雅史、山黒友丘、加持春菜、海老原 彰、草鹿 元、石川眞実、紺野武彦、益子敏弘、渡辺英寿：酸素吸入を用いた光トポグラフィーによるくも膜下出血急性期の脳虚血診断と臨床応用（脳血管攣縮の早期診断、治療）. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
7. 藤原洋平、草鹿 元、伊古田雅史、山黒友丘、加持春菜、海老原 彰、石川眞実、川沼清一、田中裕一：Chiari奇形に対する当院の治療成績～自家組織を用いた硬膜形成術～. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
8. 山黒友丘、草鹿 元、大澤 祥、藤原洋平、伊古田雅史、加持春菜、海老原 彰、石川眞実、庄田基、田中裕一：頸椎前方固定用ハイブリットケージの使用経験と短期術後成績. 第72回日本脳神経外科学会総会、2012年10月17-19日、横浜
9. 石川眞実、伊古田雅史、山黒友丘、海老原 彰、草鹿 元、田中裕一、森川隆之、中村智実、梶村眞弓、末松 誠：くも膜下出血直後の脳微小循環障害 - 細動脈血管反応性と毛細血管内血球速度

- の解析－. 第25回日本脳循環代謝学会、2013年11月1-2日、札幌
10. 伊古田雅史、石川眞実、大澤 祥、藤原洋平、山黒友丘、加持春菜、海老原 彰、草鹿 元、田中裕一、高嶋浩一、桐生ななえ：脳表直接刺激による下肢MEPの術中モニタリング. 第43回日本臨床神経生理学会、2013年11月8-10日、高知
 11. 石川眞実、高嶋浩一、桐生ななえ、伊古田雅史、山黒友丘、海老原 彰、草鹿 元、田中裕一：術中滑車神経刺激による眼電図の解析. 第43回日本臨床神経生理学会、2013年11月8-10日、高知
 12. 太田 康、石川眞実：鼻内視鏡下下垂体手術における内視鏡エコーの有用性. 第20回日本神経内視鏡学会、2013年11月7-8日、山梨
 13. 伊古田雅史、柚 夏美、藤原洋平、山黒友丘、海老原 彰、草鹿 元、石川眞実、田中裕一：非典型的な経過より脳悪性リンパ腫との鑑別に苦慮したMalignant gliomaの一例. 第122回日本脳神経外科学会関東地方会 2013年12月7日、東京

■ 整形外科

<論文>

- 1) 税田和夫、秋山 達、筑田博隆：感染性脊椎炎は急増している－DPCデータベースを用いた研究－. J Spine Res4, 1356-1359, 2013

<講演>

- 1) 税田和夫：腰痛診療のred flags. 平成25年第2回大宮整形外科医会学術講演会. 2013/11/06、さいたま

■ 耳鼻咽喉科

<原著論文>

- 1) Yoshida N, Hara M, Kanazawa H, Iino Y. : Large Carcinoma ex Pleomorphic Adenoma of the Parotid Gland J Oral Maxi Surg 2013 ; 2196.e1-2196.e6.
- 2) Shinnabe A, Tamii S, Hara M, Hasegawa M, Matsuzawa S, Kanazawa H, Yoshida N, Iino Y. : Xanthoma in middle ear cavity. Otol Neurotol. 2013 Aug ; 34 (6) : e53-4.

<学会発表>

- 1) 松澤真吾、長谷川雅世、原 真理子、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：浸潤型真菌症の4症例. 第52回日本鼻科学会総会ならびに学術

講演会、2013年9月26-28日、pp178, 福井.

- 2) Iino, Y. : Eosinophilic otitis media.the 7th International Symposium on Recent Advances in Rhinosinusitis and Nasal Polyposis, 4-6th October, 2013, pp78, Shimane.
- 3) 山本大喜、白倉真之、長谷川雅世、原 真理子、松澤真吾、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：舌に生じたHamartomaの小児例. 第115回日耳鼻埼玉県地方部会学術講演会、2013年10月6日、プログラムp2, 浦和.
- 4) 白倉真之、山本大喜、柚 夏美、長谷川雅世、原真理子、松澤真吾、新鍋晶浩、金沢弘美、吉田尚弘、飯野ゆき子：鼻腔リノスポリジウム症の症例. 第115回日耳鼻埼玉県地方部会学術講演会、2013年10月6日、プログラムp3, 浦和.
- 5) 飯野ゆき子：小児の中耳炎の将来に及ぼす影響. 第58回日本音声言語医学会 ランチョンセミナー、2013年10月17-18日、pp56, 高知.
- 6) Iino, Y. : Draining ears in pediatric population. the 29th Politzer Society Meeting, 14-17th November, 2013, pp68, Antalya.
- 7) 飯野ゆき子：難治性中耳炎の診断と治療－ANCA関連血管炎性中耳炎を正しく診断するために－. 第23回日本耳科学会総会・学術講演会 ランチョンセミナー4、2013年11月24-26日、宮崎 (Otol Jpn 23 (4) : 439, 2013)
- 8) 金沢弘美、原 真理子、松澤真吾、長谷川雅世、新鍋晶浩、吉田尚弘、飯野ゆき子：好酸球性中耳炎を重症・難治化させる危険因子について. 第23回日本耳科学会総会・学術講演会、2013年11月24-26日、宮崎 (Otol Jpn 23 (4) : 758, 2013)
- 9) 山本大喜、松澤真吾、長谷川雅世、原 真理子、吉田尚弘、新鍋晶浩、金沢弘美、飯野ゆき子：Lateral sinus thrombosisを合併した弛緩部型真珠腫の小児症例. 第23回日本耳科学会総会・学術講演会、2013年11月24-26日、宮崎 (Otol Jpn 23 (4) : 664, 2013)
- 10) 飯野ゆき子：好酸球性中耳炎の基礎と臨床. 第63回日本アレルギー学会秋季学術大会 教育講演21, 東京、2013年11月28-30日、抄録p.1162.

<その他>

- 1) 飯野ゆき子：講演5「好酸球性中耳炎の病態と治療」第13回Early Intervention研究会、2013年9月14日、東京.
- 2) 飯野ゆき子：特別講演「難治性中耳炎の病態と治療」日本耳鼻咽喉科学会山梨県地方部会研修会、2013年10月12日、山梨.

- 3) 吉田尚弘、飯野ゆき子：特集・難治性外耳疾患の診断と治療「外耳道真菌症」ENT,159：6-10, 2013年.

■ 眼科

論文

- 1) Keratoplasty Postoperative Treatment Update Machiko Shimmura-Tomita, Shigeto Shimmura, Yoshiyuki Satake, Seika Shimazaki-Den, Masahiro Omoto, Kazuo Tsubota, and Jun Shimazaki, Cornea 2013；32 (Suppl)：S60-S64

その他

- 1) 太田有夕美、田中克明、豊田文彦、榛村真智子、木下 望、高野博子、梯 彰弘：当院における白内障日帰り手術開始後の考察 第59回埼玉県眼科集談会、さいたま市、2013年9月8日
- 2) 田中克明、太田有夕美、豊田文彦、榛村真智子、木下 望、高野博子、梯 彰弘：緑内障発作を起こした小眼球症の治療経験 第59回埼玉県眼科集談会、さいたま市、2013年9月8日

■ 産婦人科

論文発表

- 1) Chan PK, Zhang C, Park JS, Smith-McCune KK, Palefsky JM, Giovannelli L, Coutlée F, Hibbitts S, Konno R, Settheetham-Ishida W, Chu TY, Ferrera A, Alejandra Picconi M, De Marco F, Woo YL, Raiol T, Piña-Sánchez P, Bae JH, Wong MC, Chirenje MZ, Magure T, Moscicki AB, Fiander AN, Capra G, Young Ki E, Tan Y, Chen Z, Burk RD, Chan MC, Cheung TH, Pim D, Banks L. Geographical distribution and oncogenic risk association of human papillomavirus type 58 E6 and E7 sequence variations. *Int J Cancer*.132 (11)：2528-36. 2013
- 2) Ono Y, Takagi K, Seki H, Takai Y, Samejima K, Matsunaga S, Matsumura H. Neonatal outcome in infants of chronically hypertensive mothers. *J Obstet Gynaecol Res*. 39 (6)：1142-6. 2013

学会発表

- 1) 佐々木由梨、岩成 治、ハンリーシャロン、今野良. 我が国のHPV併用検診におけるCIN3への進展リスクの検討. 第72回日本癌学会学術総会、愛知、2013年10月3～5日.

- 2) 中島千恵、根津幸穂、鈴木由梨奈、近澤研郎、満下淳地、今野 良. 子宮内膜症から発生した卵巣扁平上皮癌の2例. 第84回 埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会 平成25年度後期学術集会、さいたま、2013年11月9日.
- 3) 王 良誠、堀内 功、見上由紀子、鈴木由梨奈、中島千恵、近澤研郎、根津幸穂、満下淳地、今野良、高木健次郎. 帝王切開後の分娩時出血に対して2回の子宮動脈塞栓術を施行して止血しえた1例～当院における子宮動脈塞栓術時の工夫～. 第84回 埼玉産科婦人科学会 埼玉県産婦人科医会 平成25年度後期学術集会、さいたま、2013年11月9日.
- 4) 今野 良. 【特別講演】子宮頸がんの包括的予防ー私たちができること、すべきことー. 第34回日本臨床細胞学会北海道支部総会並びに学術集会、北海道、2013年11月23日.

著書、総説

- 1) 今野 良. 子宮頸がんの予防 HPV (ヒトパピローマウイルス) ワクチン. 産婦人科の実際臨時増刊号 プロメテウス婦人科がん最新医療, 62 (12)：1665-1669, 2013. 金原出版
- 2) 高木健次郎、堀内 功、五味陽亮. 切迫早産治療ではβ刺激薬を使用する. *周産期医学*, 43 (8)：982-985, 2013.
- 3) 今野 良. 子宮頸癌予防HPVワクチンの副反応・有害事象. *日本産婦人科医会報*, 65 (9)：10-11, 2013.

その他

- 1) 今野 良. HPVワクチンから考える「科学を拠り所とした予防接種コミュニケーション」. 第12回自治医科大学シンポジウム、栃木、2013年9月5日.
- 2) 今野 良. 子宮頸がん征圧の取り組み～日本から発信できること～. 第216回大分市医師会産婦人科臨床検討会、大分、2013年9月13日.
- 3) 今野 良. 子宮頸がん診療のイノベーション. 新潟県臨床検査センター協議会第87回総会・研修会、新潟、2013年9月14日.
- 4) 今野 良. 子宮頸がんワクチン～安全性を中心に～. 柏地区産婦人科医会秋季講習会、千葉、2013年10月8日.
- 5) 今野 良. 子宮頸がん検診とHPVワクチンに関する最新情報. 平成25年度日本産婦人科医会九州ブロック協議会、鹿児島、2013年10月20日.
- 6) 今野 良. 子宮頸がん予防ワクチン～安全性を中

心に～、山形市小児科集談会、山形、2013年10月23日。

■ 皮膚科

2013年7月から12月

学会発表

- 1) 中村哲史, 山田朋子, 中村考伸, 若旅功二, 塚原理恵子, 飯田絵理, 加倉井真樹, 梅本尚可: 眼瞼部, および右頬部に体部白癬様を呈した慢性円板状エリテマトーデス (DLE) の1例、第40回皮膚かたち研究学会学術大会、平成25年7月28日、東京都
- 2) 塚原理恵子, 成田多恵, 中村考伸, 飯田絵理, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: アナフィラクトイド紫斑様の臨床像を呈した汗孔角化症 (Hyperkeratotic form) の1例、第40回皮膚かたち研究学会学術大会、平成25年7月28日、東京都
- 3) 中村哲史, 堂本隆志, 梅本尚可, 塚原理恵子, 中村考伸, 若旅功二, 加倉井真樹, 山田朋子, 高島民守, 出光俊郎: 3個の所属リンパ節転移をみた乳房外パジェット病—センチネルリンパ節生検の有用性および転移数と予後の考察、第29回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、2013年8月9日-10日、甲府市
- 4) 塚原理恵子, 成田多恵, 堂本隆志, 中村考伸, 飯田絵理, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: パテントブルー皮下注射直後に全身皮膚色の青緑色調変化、パルスオキシメータ値低下を来した一例、第29回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、2013年8月9日-10日、甲府市
- 5) 中村考伸, 永島和貴, 牧伸樹, 飯田絵理, 中村哲史, 梅本尚可, 山田朋子, 出光俊郎, 中野智之, 遠藤俊輔: 急速に進行し、肺転移、皮膚転移をきたした陰嚢部有棘細胞癌の1例、第29回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、2013年8月9日-10日、甲府市
- 6) 若旅功二, 梅本尚可, 中村考伸, 飯田絵理, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎, 横倉英人: イミキモド外用が奏効した外陰部パジェット病の1例、第29回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、2013年8月9日-10日、甲府市
- 7) 中村哲史, 渡邊萌理, 梅本尚可, 塚原理恵子, 中村考伸, 若旅功二, 飯田絵理, 加倉井真樹, 山田朋子, 出光敏郎: ステロイド内服中のSLE患者に発症した難治性足底疣贅に対して切除、植皮を

行った一例、第77回日本皮膚科学会東部支部学術大会、2013年9月21日-22日、さいたま市

- 8) 中村考伸, 渡邊萌理, 塚原理恵子, 小山尚俊, 飯田絵理, 正木真澄, 堂本隆志, 中村哲史, 梅本尚可, 加倉井真樹, 山田朋子, 出光俊郎: 局所麻酔下デブリードマンで初期治療を行った壊死性筋膜炎の3例、第77回日本皮膚科学会東部支部学術大会、2013年9月21日-22日、さいたま市
- 9) 塚原理恵子, 成田多恵, 中村考伸, 飯田絵理, 中村哲史, 山田朋子, 出光俊郎: アナフィラクトイド紫斑様の臨床像を呈した汗孔角化症 (Hyperkeratotic form) の1例、第77回日本皮膚科学会東部支部学術大会、2013年9月21日-22日、さいたま市
- 10) 山田朋子, 塚原理恵子, 中村考伸, 飯田絵理, 牧伸樹, 永島和貴, 加倉井真樹, 梅本尚可, 中村哲史, 出光俊郎, 山上淳, 神谷浩二, 青山裕美, 古賀浩嗣, 橋本隆: 抗デスマグレイン3抗体陽性水疱性類天疱瘡患者の血清の検討 第77回日本皮膚科学会東部支部学術大会、さいたま市、2013年9月21日-22日
- 11) 出光俊郎, 中村考伸, 飯田絵理, 正木真澄, 小山尚俊, 中村哲史, 加倉井真樹, 堂本隆志, 梅本尚可, 成田多恵, 山田朋子: 足底表皮嚢腫はくりぬき法の良い適応である—自治医科大学附属さいたま医療センター20例の経験から—、第77回日本皮膚科学会東部支部学術大会、2013年9月21日-22日、さいたま市

論文

- 1) 中村哲史, 出光俊郎: 結節性紅斑【見逃したくない皮膚症状～全身疾患を診断するための考え方】《他科医が知っておくべき内科関連皮膚疾患》. Modern Physician 33 (8): 1031-1033, 2013
- 2) 中村哲史, 橋本喜夫, 西薫, 竹田恵子, 水元俊裕, 飯塚一: 落葉状天疱瘡 妊娠、出産、産後における抗デスマグレイン1抗体価の変動. 皮膚科の臨床 55 (7): 813-817, 2013
- 3) 中村哲史, 西薫, 橋本喜夫, 水元俊裕, 高橋英俊: 髄膜炎現象を認めた顔面帯状疱疹. 旭川厚生病院医誌 22 (1): 41-43, 2012
- 4) 出光俊郎, 太田学, 山田朋子, 塚原理恵子, 飯田絵理, 中村考伸, 正木真澄, 中村哲史, 加倉井真樹, 成田多恵, 若旅功二, 梅本尚可, 堂本隆史: アトピー性皮膚炎に併発したトリコチロマニアの小児例. Skin Surgery 22 (2): 118-120, 2013
- 5) 西薫, 中村哲史, 水元俊裕, 橋本喜夫, 飯塚一: 旭川厚生病院で経験した強皮症40例のまと

- め. 皮膚科の臨床 55 (4) : 483-486, 2013
- 6) 中村哲史, 中村考伸, 梅本尚可, 山田朋子, 出光俊郎, 橋本喜夫: γ グロブリン大量 (IVIG) 療法に伴い好中球減少と血小板減少をきたした尋常性天疱瘡. 埼玉県医学会雑誌 48 (1) : 339-343, 2013
- 7) 藤本由貴, 中村考伸, 塚原理恵子, 飯田絵理, 山田朋子, 増田麻里亜, 渡邊萌理, 小山尚俊, 中村哲史, 出光俊郎, 白石 守, 崎山快夫, 大塚美恵子, 菅原 斉, 加計正文: 薬剤過敏症候群 (Drug-induced Hypersensitivity Syndrome, DIHS) と診断した3例. 埼玉県医学会雑誌 48 (1) : 344-350, 2013
- 8) Satoshi Nakamura, Keiko Takeda, Yoshio Hashimoto, Toshihiro Mizumoto, Hajime Iizuka, Demitsu Toshio : Levels of tumor necrosis factor-alpha, interleukin-6, and interferon-gamma during the active phases of Bechet's disease, pustular psoriasis, palmoplantar pustulosis, and Stevens-Johnson syndrome ; A pilot study. Journal of Clinical & Experimental Dermatology Research 4 (2) : 175, 2013
- 9) Satoshi Nakamura, Yoshio Hashimoto, Kaoru Nishi, Toshihiro Mizumoto, Hidetoshi Takahashi, Hajime Iizuka, Toshio Demitsu : Clinical response of acneiform eruptions caused by cetuximab, an epidermal growth factor receptor antibody, by administration of oral tetracycline and ketoconazole ointment. Journal of Dermatological Case Reports : in press, 2013
- 10) Satoshi Nakamura, Yoshio Hashimoto, Kaoru Nishi, Keiko Takeda, Toshihiro Mizumoto, Demitsu Toshio and Hajime Iizuka : High rate of cardiac sarcoidosis presenting with cutaneous plaque type sarcoidosis in 18F-fluorodeoxy glucose (FDG) positron emission tomography-computed tomography (PET-CT) : cases reports. Journal of Medical Case Reports : in press, 2013
- 11) Takahashi H, Tsuji H, Honma M, Shibaki H, Nakamura S, Hashimoto Y, Takahashi M, Koike K, Takei A, Ishida-Yamamoto A, Iizuka H : Japanese patients with psoriasis and atopic dermatitis show distinct personality profiles. J Dermatol 40 (5) : 370-373, 2013

■ 麻酔科・集中治療部

論文

(英文)

1. Uchino S, Toki N, Takeda K, Ohnuma T, Namba Y, Katayama S, Kawarazaki H, Yasuda H, Izawa J, Uji M, Tokuhira N, Nagata I ; Japanese Society for Physicians and Trainees in Intensive Care (JSEPTIC) Clinical Trial Group. Validity of low-intensity continuous renal replacement therapy*. Crit Care Med. 2013 ; 41 : 2584-91.
2. Kawarazaki H, Uchino S, Tokuhira N, Ohnuma T, Namba Y, Katayama S, Toki N, Takeda K, Yasuda H, Izawa J, Uji M, Nagata I ; JSEPTIC (Japanese Society for Physicians Trainees in Intensive Care) Clinical Trial Group. Who may not benefit from continuous renal replacement therapy in acute kidney injury? Hemodial Int. 2013 ; 17 : 624-32.
3. Hosokawa S, Koseki H, Nagashima M, Maeyama Y, Yomogida K, Mehr C, Rutledge M, Greenfeld H, Kaneki M, Tompkins RG, Martyn JA, Yasuhara SE. Efficacy of phosphodiesterase 5 inhibitor on distant burn-induced muscle autophagy, microcirculation, and survival rate, Am J Physiol Endocrinol Metab. 2013 ; 304 : E922-33.
4. Nagashima M, Yasuhara S, Martyn JA. Train-of-four and tetanic fade are not always a prejunctional phenomenon as evaluated by toxins having highly specific pre- and postjunctional actions, Anesth Analg. 2013 ; 116 : 994-1000.
5. Zhu S, Nagashima M, Khan MA, Yasuhara S, Kaneki M, Martyn JA. Lack of caspase-3 attenuates immobilization-induced muscle atrophy and loss of tension generation along with mitigation of apoptosis and inflammation, Muscle Nerve. 2013 ; 47 : 711-21.
6. Nakazawa Y, Ii R, Tamura T, Hoshina T, Tamura K, Kawano S, Kato T, Sato F, Horino T, Yoshida M, Hori S, Sanui M, Ishii Y, Tateda K. A case of NDM-1-producing *Acinetobacter baumannii* transferred from India to Japan. J Infect Chemother 2013 ; 19 : 330-2

(和文)

1. 安田英人, 讃井将満: 日本集中治療教育研究会. カテーテル関連血流感染症に対してクロルヘキシジナルコールは有用か. 日本集中治療医学会雑誌

誌 2013; 20: 217-26

2. 伊藤有美, 讚井將満: 集中治療室における体重測定は安全か? 日本集中治療医学会雑誌 2013; 20: 663-4

学会発表

(海外)

1. Ohnuma T, Kimura N, Sasabuchi Y, Asaka K, Shiotsuka J, Komuro T, Mouri H, Lefor A, Adachi H, Sanui M, Postoperative heart rate does not correlate with long-term mortality or the incidence of aortic events after repair of Type A acute aortic dissection, SCCM (Society of Critical Care Medicine's 42th Critical Care Congress) Puerto Rico 2013.1.19-23
2. Ohnuma T, Suzuki J, Sanayama H, Ito k, Fujiwara, Yamada H, Sanui M, Higher urine output in patients with acute kidney injury after discontinuation of continuous renal replacement therapy is associated with lower mortality and improved renal recovery, ESICM (European Society of Intensive Care medicine) Paris, 2013. 10. 5-9
3. Suzuki J, Ohnuma T, Sanayama H, Ito k, Fujiwara T, Yamada H, Sanui M, Early Initiation of Continuous Renal Replacement Therapy is Associated with Lower Mortality in Critically ill Patients with Acute Kidney Injury, ESICM (European Society of Intensive Care medicine) Paris, 2013. 10. 5-9

(国内)

1. 佐藤瑞樹, 辻本雄太, 佐藤精司, 武田健一郎, 瀬尾伸夫, 森野一真: 左眼瞼下垂を初発症状とした破傷風の1例. 第41回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2013年10月21日-23日
2. 讚井將満: 白熱M&Mカンファレンス. In 若手白熱セミナー. 第41回日本救急医学会総会・学術集会, 東京, 2013年10月21日-23日 (インストラクター)
3. 讚井將満: 心疾患患者の非心臓手術術後管理の要点. 日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会, 北九州, 2013年9月27日-29日 (28日) (コメディカルセッション2)
4. 築瀬史貴, 青山泰樹, 唐崎元一郎, 浅香佳代, 深津 健, 田中進一郎, 大塚祐史: Stroke volume variationが麻酔管理に有用な婦人科手術のDuchenne型筋ジストロフィーキャリア心筋症の

一例. 日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会, 北九州, 2013年9月27日-29日

5. 田中進一郎, 青山泰樹, 大塚祐史, 深津 健, 築瀬史貴, 長島佳代: 肺静脈閉塞に起因した肺高血圧を呈した左房内腫瘍の1麻酔症例. 日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会, 北九州, 2013年9月27日-29日
6. 長島佳代, 青山泰樹, 深津 健, 築瀬史貴, 田中進一郎, 大塚祐史: 術中経食道心エコーを用いた心臓大血管手術後に上部消化管出血を来した4症例. 日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会, 北九州, 2013年9月27日-29日
7. 青山泰樹, 濱田隆太, 築瀬史貴, 長島佳代, 深津 健, 青山有佳, 田中進一郎, 大塚祐史: 術中経食道心エコー三次元カラードップラー像により僧帽弁置換後弁周囲逆流修復に貢献し得た一例. 日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会, 北九州, 2013年9月27日-29日
8. 深津 健, 長島佳代, 青山有佳, 青山泰樹, 大塚祐史: 術中経食道心エコー所見により左室流出路心筋切除術追加を提言した急性大動脈解離の1例. 日本心臓血管麻酔学会第18回学術大会, 北九州, 2013年9月27日-29日
9. 仲富 岳, 青山泰樹, 宮澤恵果, 築瀬史貴, 田中進一郎, 村山隆紀: 脳深部刺激療法導入中のパーキンソン病において全身麻酔下に乳房切除術を施行した稀な1例. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第53回合同学術集会, 東京都新宿区, 2013年9月7日
10. 讚井將満, 池亀俊美: ICUにおけるカイゼンの試み. 第22回日本集中治療医学会関東甲信越地方会, 筑波, 2013年8月24日 (シンポジウム座長)
11. 讚井將満: ICUにおける左室拡張障害. In 左室拡張能障害と周術期管理. 日本麻酔科学会第60回学術集会, 札幌, 2013年5月23日-25日 (25日) (シンポジウム)
12. 長島道生, 岩崎 寛, J. A. Jeevendra Martyn. Train-of-four出現にはpostjunctional AChRの関与が必要である. 日本麻酔科学会第60回学術集会, 札幌, 2013年5月23-25日
13. 唐崎元一郎, 青山泰樹, 千葉英美子, 大塚祐史, 村山隆紀: ステントグラフト内挿術の麻酔覚醒時間に影響する因子. 日本麻酔科学会第60回学術集会, 札幌, 2013年5月23日-25日
14. 長島道生, 讚井將満, 川村 愛, 大沼 哲, 毛利英之, 小室哲也, 笹渕裕介, 松尾耕一, 塩塚潤二: 遷延性の高乳酸血症で発見された開心術後非閉塞性腸管虚血症の一例. 第40回日本集中治療医

- 学会学術集会, 松本, 2013年2月28日-3月2日
15. 讃井將満. 集中治療最新文献厳選55: もう少し深く知りたいあなたのために. 第40回日本集中治療医学会学術集会. 松本. 2013年2月28日-3月2日 (ワークショップ座長)
 16. 讃井將満: M&Mカンファレンスを実践しよう. 第40回日本集中治療医学会学術集会. 松本. 2013年2月28日-3月2日 (ワークショップ座長)
 17. 讃井將満: ARDSの予後を改善するためにできることはあるのか. In ARDSに対する治療戦略. 第40回日本集中治療医学会学術集会, 松本, 2013年2月28日-3月2日 (シンポジウム)
 18. 讃井將満: 一歩進んだ循環管理. 集中治療のプロフェッショナル・ナースになるための第一歩. 第40回日本集中治療医学会学術集会, 松本, 2013年2月28日-3月2日 (教育セミナー)

■ 歯科口腔外科

学会発表

- 1) 井上恵美, 宮城徳人, 杉浦康史, 林 宏美, 早坂純一, 土屋欣之, 伊藤弘人, 野口忠秀, 大橋一之, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 口腔内出血に対して入院管理下での止血処置を要した2例. 第66回栃木県歯科医学会, 宇都宮, 2013年11月3日. (プログラム抄録集 p25)
- 2) 小佐野仁志, 岡本瑠珠, 井岡友梨, 林 宏栄, 草間幹夫: 超選択的動注化学放射線治療中に化膿性脊椎炎を生じた舌癌の1例. 第58回公益社団法人日本口腔外科学会総会学術大会, 福岡, 2013年10月11-13日. (プログラム抄録集 p306)
- 3) 土屋欣之, 野口忠秀, 中井雄一郎, 岡田成生, 早坂純一, 篠崎泰久, 伊藤弘人, 小佐野仁志, 神部芳則, 草間幹夫: 当科における口腔扁平上皮癌ハイリスク症例に対する術後化学放射線療法の検討. 第58回公益社団法人日本口腔外科学会総会学術大会, 福岡, 2013年10月11-13日. (プログラム抄録集 p277)
- 4) 小佐野仁志, 井岡友梨, 林 宏栄, 岡本瑠珠, 草間幹夫: 頬部に生じた血管平滑筋腫の1例. 第196回日本口腔外科学会関東地方部会, 東京, 2013年12月7日 (プログラム抄録集 p18)

編集後記

今回の発行に際しては、大変お忙しい中、安達副センター長に巻頭言をお願いいたしました。また、多くの先生方から投稿いただき、ご協力ありがとうございました。研究だよりを通して、センターの研究等の状況を発信していきたいと思えます。

さて、2014年の新年、午年の幕開けです。この一年、馬になぞらえて颯爽と駆け抜ける飛躍の明るい年にしたいものです。

また、この6月には、サッカーの祭典ワールドカップがブラジルで開催され、日本が予選を勝ち抜いて、決勝に進むことを今から願っています。

(T)

自治医科大学附属さいたま医療センター 研究だより 第38号

発行日 平成26年1月22日
 発行 自治医科大学附属さいたま医療センター
 発行責任者 センター長 百村 伸一
 編集 事務部 総務課
 BSL 宿舎・研修施設事務室
 〒330-8503 埼玉県さいたま市大宮区天沼町1-847
 TEL. 048-647-2111
 FAX. 048-648-5166
 題 字 百村 伸一 センター長

印刷 第一印刷(株)